

## INDEX

---

- ドラッグ・リポジショニングについて
  - BioJapan2013 開催のご案内
  - 産業技術総合研究所・創薬分子プロファイリング研究センター  
開所記念シンポジウム「薬を知り尽くす。」のご案内
  - BiWO2013&CBRC2013 開催のご案内
  - 科学技術振興機構 (JST) からユーザー評価募集のご案内
- 

---

### ■ ドラッグ・リポジショニングについて

---

臨床開発段階で脱落した薬剤、あるいは既存上市薬剤の新規薬効を見出して臨床開発を行い、新たな治療薬として再生させるドラッグ・リポジショニング (Drug Repositioning) は、以前より知られている手法ですが、短期間に低コストで効率的に医薬品を開発できる方法として注目されています。

この方法では、既に製造法や製剤方法が確立された、ヒトでの安全性や体内動態の試験が実施済みの薬剤で開発を行うため、それらの情報を利用することにより、非臨床試験や P1 試験をスキップすることができ、開発期間の短縮が可能で開発費用を削減することができます。

ドラッグ・リポジショニングでこれまでにミノキシジルやシルденаフィル (バイアグラ) 等の医薬品が開発されておりますが、これらは薬剤開発会社の担当者が偶然見つけた副作用に着目し再開発が行われたもので、いわゆる「セレンディピティ」によるものです。

米国 NIH では、ドラッグ・リポジショニングを志向する研究者と製薬企業が開発を断念した薬剤を結びつけ、効率的なリポジショニング研究を行うことを可能とする、パイロット・プロジェクトを開始しています。具体的には、2012年

NCATS (National Center for Advancing Translational Sciences) を設立し、] 製薬企業 8 社 (AstraZeneca, Eli Lilly, Pfizer, Sanofi など) から脱落した 58 薬剤の提供を受け、ドラッグ・リポジショニングの研究テーマの公募を開始しました。提供された薬剤の資料は以下の URL をご参照下さい。

<http://www.ncats.nih.gov/research/reengineering/rescue-repurpose/therapeutic-uses/directory.html>

第 1 次公募では約 160 件の応募があり、最終的には本年 6 月に 9 テーマの採択が発表されました。9 つの研究グループは全てアカデミア・非営利団体で、総額 12.7 百万ドル (約 12 億円) がファンドされます。採択された 9 テーマの概要は次の通りです。詳細については、以下の URL をご参照下さい。

<http://www.ncats.nih.gov/research/reengineering/rescue-repurpose/therapeutic-uses/projects-2013.html>

(1) The efficacy and safety of a selective estrogen receptor beta agonist (LY500307)

採択研究者 : Alan Breier, M.D., インディアナ大学

薬剤 : LY500307 (エストロゲンレセプター  $\beta$  アゴニスト、イーライリリー社提供)

※前立腺肥大症及び下部尿路閉塞症状で P2 まで治験を進めていたが、薬効不足で中断

新規適応症 : 統合失調症

(2) Fyn inhibition by AZD0530 for Alzheimer' s disease

採択研究者 : Stephen M. Strittmatter, M.D., Ph.D.他、エール大学

薬剤 : AZD0530 (Src チロシンキナーゼ阻害剤、アストラゼネカ社提供)

※卵巣がんで P2b まで治験を行った。また、アストラゼネカ社以外のスポンサーで腎がん、前立腺がん、及び乳がんで P2b 治験中

新規適応症 : アルツハイマー認知症

(3) Medication development of a novel therapeutic for smoking cessation

採択研究者 : Darlene H. Brunzell, Ph.D 他、バージニア Commonwealth 大学他

薬剤 : JNJ-39393406 (ニコチン性アセチルコリンレセプター  $\alpha 7$  調節剤、ヤンセンファーマ社提供)

※統合失調症治療薬として P2 治験を進めていたが、薬効が認められず中断

新規適応症 : 禁煙治療

(4) A novel compound for alcoholism treatment: A translational strategy

採択研究者：Fatemeh Akhlaghi, Pharm.D., Ph.D 他、ロードアイランド大他

薬剤：PF-05190457（グレリンレセプター逆作動剤、ファイザー社提供）

※2型糖尿病治療薬として P1 治験を進めていたが、同社の開発戦略変更により  
中断

新規適応症：アルコール中毒

(5) Partnering to treat an orphan disease: Duchenne muscular dystrophy

採択研究者：Kathryn R. Wagner, M.D., Ph.D 他、Kennedy Krieger 研究所他

薬剤：薬剤名の記載が無いため未特定（サノフィアベンティス社提供）

新規適応症：Duchenne 筋ジストロフィー

(6) Reuse of ZD4054 for patients with symptomatic peripheral artery disease (PAD)

採択研究者：Brian H. Annex, M.D., バージニア大学

薬剤：ZD4054（エンドセリンレセプターA アンタゴニスト、アストラゼネカ社  
提供）

※抗がん剤（前立腺がん、肺非小細胞がん）として Phase3 まで治験を行ったが  
中断。中断理由は不明

新規適応症：閉塞性末梢動脈硬化症

(7) Therapeutic strategy for lymphangioliomyomatosis (LAM)

採択研究者：N. Tony Eissa, M.D., ベイラー医科大学

薬剤：AZD0530（Src チロシンキナーゼ阻害剤、テーマ 2 と同じ薬剤）

新規適応症：リンパ脈管筋腫症

(8) Therapeutic strategy to slow progression of calcific aortic valve stenosis

採択研究者：Jordan D. Miller, Ph.D 他、メイヨークリニック

薬剤：薬剤名の記載が無いため未特定（サノフィアベンティス社提供）

新規適応症：石灰性大動脈弁狭窄症

(9) Translational neuroscience optimization of GlyT1 inhibitor for cognitive impairments associated with schizophrenia

採択研究者：John H. Krystal, M.D., エール大学

薬剤：PF-03463275（作用機序はグリシントランスポーター 1 阻害剤、ファイザー

社提供)

※統合失調症治療薬として Phase2 治験を進めていたが、薬効が認められず中断  
新規適応症：統合失調症※エール大の脳イメージング新技術を利用し、統合失調  
症患者で薬効薬理試験の再検討を実施する予定。

JBIC では、国内でのドラッグ・リポジショニングプロジェクトの可能性について  
検討を進めており、JBIC 会員企業のご意見を伺ったところ、知財関係などの問題  
点や、リポジショニング研究の実現可能性について疑問点が出されたものの、  
薬剤を提供することについては肯定的な意見があり、現実的なビジネスモデルの  
提案もありました。

JBIC では、引き続き、ドラッグ・リポジショニングプロジェクトの実現に向けて  
検討を進めていきたいと存じますので、ご意見やご希望等ございましたら、下記  
までご連絡頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

お問い合わせ：drugrepositioning@jbic.or.jp

---

■ BioJapan2013 開催のご案内

---

今年の BioJapan は 25 カ国・地域を超える 700 社以上が参加してオープン  
・イノベーションを創出。来場者のマッチングメンバー登録がいよいよ  
スタート！

■■■■ 来場登録・マッチングメンバー登録受付開始！ ■■■■

●○ BioJapan 2013 World Business Forum ○●

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/main/index.html>

【会期】 2013 年 10 月 9 日（水）-11 日（金）

【会場】 パシフィコ横浜

【主催】 BioJapan 組織委員会

一般財団法人バイオインダストリー協会

公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム  
日本バイオ産業人会議  
日本製薬工業協会  
NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議  
公益財団法人地球環境産業技術研究機構  
一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム  
株式会社 ICS コンベンションデザイン

展示会入場・セミナー聴講が無料になる来場登録は  
こちらから>>

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/main/visitor.html>

パートナリング詳細は  
こちらから>>

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/main/partnering.html>

■■■■■ 本展にご参加するメリット ■■■■■

**BioJapan** はバイオビジネスにおけるアジア最大級のパートナーングイベントです。マッチングシステムを活用いただくことにより、シーズの導出・導入から技術提携、企業アライアンスまで、様々な商談を実現することが可能です。

■探索を徹底効率化したマッチングシステムが、商談のクオリティを高めます！公式ウェブサイトから事前に来場登録いただくことで、展示会入場とセミナー聴講は無料になります。

事前来場登録はこちらから>>

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/main/visitor.html>

事前来場登録完了後、追加でマッチングメンバー（有料）に登録してパートナーングにご参加いただくと、様々なネットワーキングのためのプログラムが利用できます。

マッチングメンバー登録料：1アカウント 50,000円（税込）

※1アカウントにつき1名様が以下のサービスをご利用いただけます。

・マッチングシステムの利用

- ・会期 3 日間の昼食（パートナリング会場内）
- ・会期初日のレセプションへの参加
- ・会期 2 日目のパートナリングパーティへの参加

□前回のパートナリング参加企業は  
こちらから>>

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/main/report.html#partnering>

※2012 年は、22 カ国より 541 社がパートナリングに参加し 3,372 件の  
ミーティングが実施されました。※出展者のマッチングメンバー参加  
登録は、7 月下旬頃を予定しています。

■アジアのバイオ最前線マーケットに、世界が注目している今が  
チャンスです！

ポイント 1：国内外の製薬会社、先進的シーズを有する大学・ベンチャー  
企業に加えて、本年は EU クラスタ・ドイツ・ベルギー・ロシア等、  
国家プロジェクトによるパビリオン出展の他、オランダ、スウェーデン、  
フランス、イタリア、スペイン、アメリカ、カナダ、タイ、マレーシア、  
シンガポール、中国、台湾 等、各国地域からの参加が続々と決定して  
います。

ポイント 2：日本のイベント主催者で初導入した本格的マッチングシステムが  
更にバージョンアップしました。グローバル水準の商談支援システムによって、  
昨年以上の商談数とクオリティのご提供を目指します。

ポイント 3：150 本超の主催者セミナー、出展者プレゼンテーションを同時  
開催し、業界関係者に最新情報を一挙公開。iPS 細胞・再生医療はもちろん、  
医薬・創薬・医療機器の最前線の他、機能性食等、話題のテーマにフォーカス  
します。

※出展者・パートナリング参加者・セミナープログラム情報は公式ウェブ  
サイトで 8 月上旬から随時公開いたします。

ご不明な点は BioJapan 事務局までお気軽にご連絡ください。

.....



BioJapan 事務局

株式会社 ICS コンベンションデザイン

TEL : 03-3219-3565 / FAX : 03-3219-3628

Email : biojapan@ics-inc.co.jp

.....

-----  
■産業技術総合研究所・創薬分子プロファイリング研究センター  
開所記念シンポジウム「薬を知り尽くす。」のご案内  
-----

本年4月に産業技術総合研究所・臨海副都心センターに創薬分子プロファイリング研究センター (molprof)が設立されましたが、開所記念シンポジウム「薬を知り尽くす。」が開催されることになりましたので、ご案内いたします。

創薬分子プロファイリング研究センターは、バイオ計測・ITの融合により、薬効・副作用ターゲットの決定とメカニズム解明を体系的に行う分子プロファイリング技術を開発し、高度なプロファイリングを基に、化合物を論理的に最適化する創薬基盤技術プラットフォームを構築します。

このプラットフォームにより、新薬候補化合物、上市薬とドロップ薬を体系的にプロファイリングしていきます。上市薬のリポジショニングとドロップ薬の再開発を効率化するだけでなく、さらにその経験から「成功を知識にし、失敗から学ぶ仕組みづくり」による、新薬開発の知的創薬基盤を創出したいと考えています。

この新戦略により、日本の新薬開発力を底上げし、産学官一体型創薬の高度な実現を目指します。

開所記念シンポジウム「薬を知り尽くす。」を下記のとおり開催いたしますので、ご参加のほど、よろしく願いいたします。

◆日時 2013年9月17日(火) 10:00~18:30

◆場所 イイノホール(東京都千代田区内幸町2-1-1)

◆参加費 講演会：無料、懇親会：3,000 円

◆プログラム

第 1 部：創薬分子プロファイリング研究センター紹介 I

第 2 部：特別講演 I

国立がん研究センター研究所長：中釜 斉

慶應義塾大学医学部 教授：須田 年生

第 3 部：創薬分子プロファイリング研究センター紹介 II

第 4 部：特別講演 II

第一三共株式会社 専務：廣川 和憲

医薬基盤研究所 創薬支援戦略室長：榎林 陽一

理化学研究所 プログラムディレクター：後藤 俊男

産業技術総合研究所 理事：湯元 昇

◆参加申込方法及びプログラム詳細は、下記の URL を参照ください。

<http://www.molprof.jp/info/event.html>

-----  
■BiWO2013&CBRC2013 開催のご案内  
-----

産業技術総合研究所生命情報工学研究センター（CBRC）からのご案内です。

CBRC では毎年恒例となっているイベント「BiWO2013」（CBRC ワークショップとバイオインフォマティクスに関する研究会を連続開催）を 9/9～13 に開催いたします。

BiWO（バイウォ）は、CBRC の公開ワークショップを中心に、バイオインフォマティクス関連の学術集会を集中開催するイベントで、今年で 7 回目となります。

国内外の最先端の講演に加え、一般参加によるポスターセッションも行われ、バイオインフォマティクスに特化した最新情報の発信地として注目を集めています。ぜひ BiWO2013 & CBRC2013 にご参加いただき、生命情報科学の“今”に触れてください。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

◆◆ BiWO2013 - BioInformatics Week in Odaiba - ◆◆

日程 2013年9月9日～9月13日

会場 産総研臨海副都心センター別館 11階

東京都江東区青海 2-4-7

参加費無料

<http://www.cbrc.jp/biwo2013/>

■招待講演

Fabien Campagne 先生

(Weill Cornell Medical College)

馬場 嘉信 先生

(名古屋大学大学院工学研究科/産総研健康工学研究センター)

笹井 理生 先生

(名古屋大学大学院工学研究科)

片山 俊明 先生

(情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター)

市川 夏子 先生

(製品評価技術基盤機構)

■同時開催

HPCI ワークショップ 2013

<https://hpci.cbrc.jp/modules/workshop/index.html>

7th AYRCOB

- Asian Young Researchers Conference on Computational and Omics Biology

<http://2013.ayrcob.org/>

JSBi 創薬インフォマティクス研究会

JSBi 生命システム理論研究会

◆ランチョンセミナー◆ 9月11日・9月13日

スポンサー企業様のご協力によるランチョンセミナーがあります。

◆参加登録はこちら◆

<http://www.cbrc.jp/biwo2013/>

◆◆ 現在ポスター発表を公募しております ◆◆

ぜひご発表をご検討ください。よろしくお願いたします。

ポスター投稿はこちら

[http://www.cbrc.jp/cbrc2013/poster\\_regi.html](http://www.cbrc.jp/cbrc2013/poster_regi.html)

ポスター投稿〆切 8月18日(日)

使用言語：英語

英文アブストラクト(150words以内)をご入力ください。

優秀な発表にはポスター賞を用意しています。

◆お問い合わせ

BiWO2013 実行委員会

<http://www.cbrc.jp/biwo2013/> [CONTACT US]

-----  
■ 科学技術振興機構からユーザー評価募集のご案内  
-----

【募集】「ライフサイエンスデータベース統合推進事業」に関する  
ユーザー評価

科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンターでは平成23年度より実施している「ライフサイエンスデータベース統合推進事業」について第1段階の最終年を迎えていることから、ユーザー評価をしていただく方を募集しています。

◆募集期間：2013年7月29日(月)まで

※募集締め切りが迫っておりますのでご注意ください。

ご興味のある方は、NBDCユーザー評価事務局 ([info@biosciencedbc.jp](mailto:info@biosciencedbc.jp))へ  
下記項目をE-mailにてお送りください。

- ・氏名
- ・所属機関名
- ・職名
- ・E-mail アドレス

折り返し、サイトのアクセス情報などの詳細を E-mail にてお送りいたします。  
なお、上記事業の採択課題の実施関係者にはご参加いただけませんので、  
ご注意ください。

お問い合わせ先：NBDC ユーザー評価事務局  
info@biosciencedbc.jp  
<http://biosciencedbc.jp/about-us/nbdc-news/318-20130708>

---

「JBIC 会員企業からのご案内」の項目を設けております。  
JBIC 会員企業で掲載して欲しい記事がございましたら、ご連絡ください。  
なお、掲載の可否については JBIC 事務局にて判断させていただきますので予め  
ご了承ください。

●JBIC に関するご意見、ご質問、お問い合わせはこちらから。  
<https://www.jbic.or.jp/roku/voicebox/input.html>

●配信中止、変更はこちらから。  
[https://www.jbic.or.jp/roku/m\\_chushi/input\\_ch.html](https://www.jbic.or.jp/roku/m_chushi/input_ch.html)

●発行:一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム  
JBIC めるまが編集部 <http://www.jbic.or.jp/>

---

Copyright(c) 2013 JBIC. ALL rights reserved.